

こんにちは。
株式会社アイランド・ブレインです。

このメールマガジンと弊社からの定期郵送物である
「新規開拓通信」が弊社ＨＰからダウンロードできます。
下記ＵＲＬとユーザー名・パスワードをご利用下さい。
<http://www.islandbrain.co.jp/html/download.html>
ユーザー名：shinkikaitaku
パスワード：1050

インターネットの記事で、三重県のある地方自治体が、
保留する森林が吸収する CO₂ を証券化し
一般企業などに購入を勧めていくという
ものがありました。これは地方自治体としては
初めての取り組みではなく、すでに前例が
あるもののようです。

森林が光合成をして CO₂ を吸収するという現象は
太古の昔から行われていることですが、今の時代には
それが売り物になるということに、単純ですがとても
おもしろいというか興味深さを感じます。大量の森林を
持っている自治体にとってみれば、ビジネスチャンスとなる
可能性もあるのでしょうか。

今の時代はお茶や水にお金を出して買うことは
当たり前となっていました。そして今後は CO₂ の
削減枠をお金で買うことが当たり前となるのでしょうか。
そして、今はお金を出さないもので、数年後に
お金を払うことが当たり前になっているものは
何か出てくるのでしょうか。

このメールは今まで弊社のメンバーと名刺交換をして
頂いた方や、お申し込みを頂いた方に送信をして
おりますが、配信停止をご希望される方はお手数ですが
下記アドレスまでご連絡下さい。
配信停止はこちらまで → mail@islandbrain.co.jp

■ 決裁権を持っている人とは？

今日もある Web 制作会社の営業マンのお話の続きです。

「営業をする相手は社長や決裁権のある人にしなさい」

彼は、上司のこの言葉の意味をずっと考えていました。

ある日、彼は Web 制作の案件である会社に営業に行きました。相手の Web の担当の方は専務取締役の方でした。専務という人は一般的には決裁権のある人と捉えられることが多い役職です。

一通り提案内容を説明し、相手も納得をしてくれたようでした。そして、「いかがですか？」と尋ねると、「そうですね。良いと思います。一度社長と相談した後に連絡します。」とのことでした。

「・・・・・・・・」

専務という役職の人でも本当の意味では社長の了解がなければ最終決定をすることはできない。専務が OK と言っても社長が NG と言えば NG となる。

ということは、結局のところ決裁者というのは社長やトップの人であって、それ以外の人はい決裁者ではないということにはならないか？

ではあらためて考えてみると、

決裁権のある人に対して営業するというのは
どういうことなのだろうか？社長以外は決裁者でないと
するならば、社長以外には営業をしてはいけないの
だろうか？しかし、現実には社長以外に営業をして
受注となるケースも多くある。

そんなことを考えていると
彼の頭の中である考えが浮かびました。

(次週へ続く・・・)

■ □

営業代行のご相談は下記までご連絡下さい。

株式会社アイランド・ブレイン

MAIL info@islandbrain.co.jp

URL <http://www.islandbrain.co.jp>

TEL 052-459-1050

□ ■

このメールマガジンは、株式会社アイランド・ブレインの
メンバーと名刺交換をしていただいた方に配信をしています。
お心当たりのない方、配信停止をご希望される方は
お手数ですが下記メールアドレスまでご連絡下さい。
配信停止はこちらまで → mail@islandbrain.co.jp

【発行元 お問い合わせ先】

株式会社アイランド・ブレイン

〒453-0013 名古屋市中村区亀島二丁目1番1号

MAIL info@islandbrain.co.jp

URL <http://www.islandbrain.co.jp>

TEL 052-459-1050